

令和 8 年度 年間授業計画 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

使用教科書: 新編 数学A(数研出版)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし論理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 1 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようになる。 【思考力、判断力、表現力】 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象に数学の構造を見い出し、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 場合の数、確率	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				6
	・教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面) あり	【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
単元 1 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようになる。 【思考力、判断力、表現力】 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象に数学の構造を見い出し、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 場合の数、確率	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				8
	・教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面) あり	【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
1 学 期	定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説					1
単元 1 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようになる。 【思考力、判断力、表現力】 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象に数学の構造を見い出し、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 場合の数、確率	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				7
	・教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面) あり	【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
単元 1 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようになる。 【思考力、判断力、表現力】 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象に数学の構造を見い出し、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 場合の数、確率	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				8
	・教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面) あり	【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						1

令和 8 年度 年間授業計画 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

使用教科書: 新編 数学A(数研出版)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 2 図形の性質	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようにする。	平面図形、空間図形	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
図形の構成要素間の関係などに着目し、論理的・数理的に考察する力を養う。	教科書等	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。				
【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	あり	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
単元 2 図形の性質	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようにする。	平面図形、空間図形	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
図形の構成要素間の関係などに着目し、論理的・数理的に考察する力を養う。	教科書等	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。				
【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	あり	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						1
単元 2 図形の性質	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようにする。	平面図形、空間図形	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
図形の構成要素間の関係などに着目し、論理的・数理的に考察する力を養う。	教科書等	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。				
【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	あり	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
単元 2 図形の性質	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようにする。	平面図形、空間図形	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
図形の構成要素間の関係などに着目し、論理的・数理的に考察する力を養う。	教科書等	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。				
【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	あり	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						1

令和 **8** 年度 年間授業計画 教科 **数学** 科目 **数学A**

教科: **数学** 科目: **数学A** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **1** 学年

使用教科書: **新編 数学A(数研出版)**

教科 **数学** の目標:

【知識及び技能】	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとする態度を養う。

科目 **数学A** の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 3 数学と人間の活動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するようにする。	・ 指導事項 整数の性質、数学と人間の活動	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力】 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識する力を養う。	・ 教材 教科書等	【思考力・判断力・表現力】 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見出すことができる。	○	○	○	13
【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・ 一人1台端末の活用(場面) あり	【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことができる。				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						1